

目 次

ダム機能を最大限活用する洪水調節方法の導入に向けたダム操作規則等点検に関する資料

第1章	事前放流操作	
I.	本章の目的、点検フロー	1-1
II.	回復可能水位テーブルの概要	1-2
	1. 回復可能水位テーブルの構成、使用方法	1-2
	2. 回復可能水位テーブルの作成方法の概要と意味	1-2
III.	回復可能水位テーブルの作成手順	1-2
	1. Aダムの諸元	1-3
	2. 回復可能水位テーブル作成に必要なデータの収集・整理	1-4
	3. 回復可能水位テーブルの作成	1-13
IV.	回復可能水位テーブルの評価	1-21
	1. 事前放流実施頻度に関する簡易評価	1-21
	2. 事前放流の効果に関する評価	1-23
	3. テーブル①及びテーブル②の違い	1-29
第2章	異常洪水時防災操作	
I.	本章の目的、点検フロー	2-1
II.	異常洪水時防災操作方式	2-2
	1. Aダムの諸元、計算条件	2-2
	2. 現行の異常洪水時防災操作方式	2-5
	3. 必要最小放流量方式	2-5
	4. VR方式	2-12
	5. 放流曲線逐次見直し方式	2-17
	6. 限界操作方式	2-21
III.	異常洪水時防災操作の開始水位の点検	2-25
	1. 異常洪水時防災操作の開始水位の点検手順	2-25
	2. 計算条件	2-25
	3. 計算結果	2-27
	4. まとめ	2-28
IV.	「計画規模を超える洪水時におけるただし書き操作の運用の改訂について」(昭和59年6月河川局長通達)以降提案された異常洪水時防災操作の導入可能性に関する検討方法	2-29
	1. 検討手順	2-29
	2. ダム設計洪水流量規模の流入ハイドログラフに対する洪水調節計算	2-29
	3. 洪水調節機能の評価に関する検討	2-32
	4. 結果のまとめ	2-35

第3章 特別防災操作	
I. 特別防災操作の概要、本章の目的、点検フロー	3-1
II. 特別防災操作の実施フローに関わる技術的事項	3-4
1. Bダムの諸元、下流水位観測地点（C地点）、対象出水について	3-4
2. 各ステップにおける検討事項	3-4
3. 特別防災操作による水位低下効果のシミュレーション	3-14
4. その他の放流量決定方法の紹介	3-16

参考文献	4-1
------	-----

【巻末資料】ダムの機能を最大限活用する洪水調節方法の導入に向けたダム操作規則等点検要領及び同解説

第1章 総則	1
1.1 目的	1
1.2 用語の定義	2
1.3 本要領の構成	2
第2章 事前放流に関する点検	3
2.1 点検の目的	3
2.2 対象ダム	3
2.3 点検内容	3
第3章 異常洪水時防災操作に関する点検	7
3.1 点検の目的	7
3.2 対象ダム	7
3.3 点検内容	7
第4章 特別防災操作に関する点検	12
4.1 点検の目的	12
4.2 対象ダム	12
4.3 点検内容	12